

令和2年度・学力向上支援教員活動評価（1、2学期）

（1）複数学習指導	
西小	算数の基礎計算に躓いている児童に寄り添い、個に応じた指導にあたっている。T・T指導は、経験の浅い担任が学習指導について学ぶ好機ともなっている。
中央小	学習に躓いている児童に、個に応じた指導をすることで苦手意識が軽減され、学習に意欲的に取り組むようになってきている。埼玉県学力学習状況調査（国語）で、4年生が県平均を上回ることができた。
北小	ベテランの支援教員が新任教員のクラスに入り、児童に個別指導している。また、授業後、教員へのアドバイスも行っている。
須加小	埼玉県学力学習状況調査（算数）で、各学年とも県平均を上回ることができた。
桜ヶ丘小	埼玉県学力学習状況調査で、特に5年生が県及び市平均を上回ることができた。
忍中	コロナ感染症予防の観点から、3年生を中心に国語の少人数指導を実施。作文指導等を通して「人に伝える力」「文章を読み取る力」を伸ばすことができた。
南河原中	T・T指導の中で、学習意欲の低下した生徒に支援教員がきめ細かな支援を行い、担任に対しても指導方法の助言等をしている。
（2）生活学習指導	
東小	課題を抱える児童に基本的な生活習慣を身につけさせたり学習規律を確立させたりするため、支援教員が個別支援にあたっている。また、保護者からの相談にも親身に対応している。
西小	臨時休業によって6月からのスタートとなった新入生の学校生活の定着のため、支援教員を1年に配置した。支援教員が担任と連携して、学習規律の定着を図っている。
中央小	支援教員が課題を抱える児童のそばに寄り添って指導することで、自己中心的な言動が減り、落ち着いた生活ができるようになってきている。
埼玉小	一斉指導の中では学習理解が困難な児童に支援教員が寄り添い、担任の指示をわかりやすく伝えている。机間指導で、個別に支援するとともに出来たことを称賛し、学習意欲を高めている。
泉小	学級に入り学習規律の指導をしている。若い教員の相談にも応じ、学級経営についてアドバイスをしている。
（3）補習指導等指導	
西小	週2回既習事項の復習のためスキルアップタイムを設定。家庭学習の実施が困難な家庭もあることから、補習学習の時間を確保することで学習内容の定着に役立っている。
中央小	希望者を募り補習学習を行っている。基礎的・基本的な学習内容が定着しつつある。
荒木小	木曜日の朝の活動と給食後に算数の補習学習の時間を設定し、基礎計算の復習を中心にドリル学習を行っている。
星宮小	担任と連携して対象児童を挙げ、集中的に指導。個別指導により学力低位の児童の意欲を喚起することができた。
見沼中	英単語等の小テストを繰り返すことで基礎・基本を定着させ、自己肯定感を高めている。
南河原中	学力向上の補習時間を特設するとともに、支援教員が昼休みや夏季休業中にeラーニングの使い方について教え、生徒の課題解決を支援した。